

財政事情説明書

昭和62年度の決算状況と昭和63年度予算の上半期の執行状況を次のとおり公表します。

昭和63年12月1日

大村市長 松本 崇



大村市の財政状況

大村市告示第96号

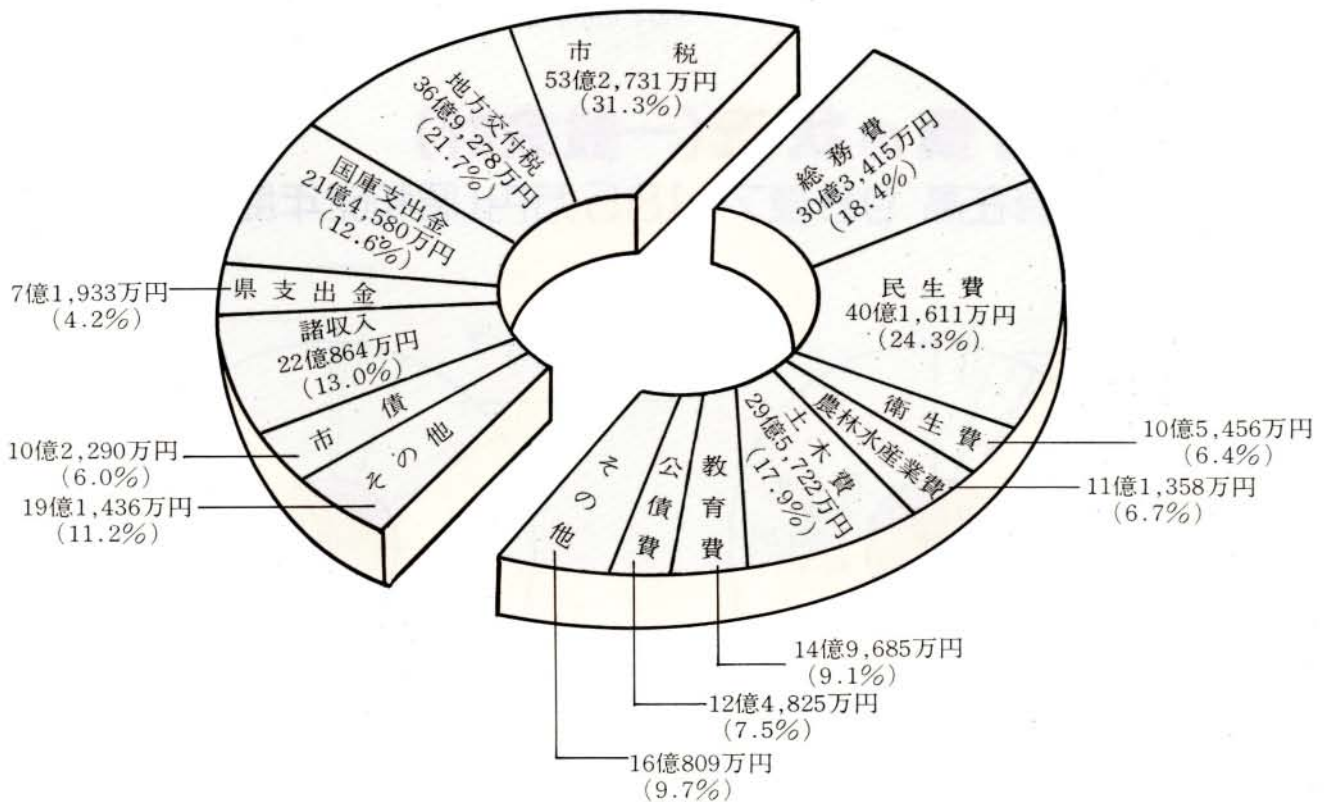
昭和62年度 一般会計歳入歳出決算状況

歳入

170億3,112万円

歳出

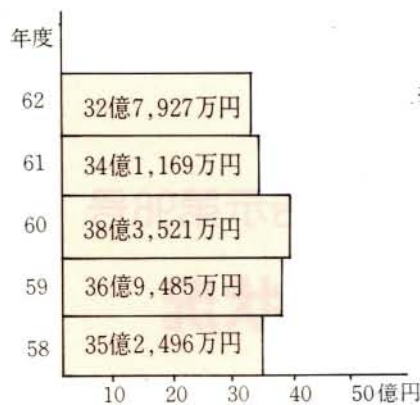
165億2,881万円



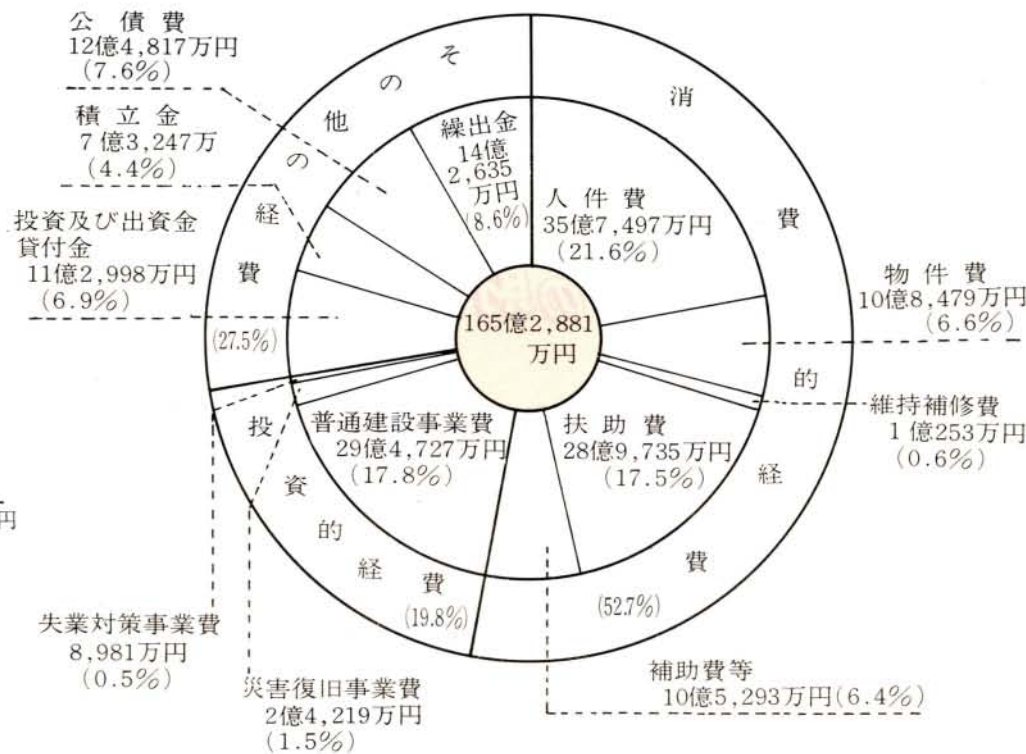
昭和62年度 特別会計歳入歳出決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引
簡易水道事業	6億 128万円	6億 128万円	0
国民健康保険事業	38億8,839万円	37億9,804万円	9,035万円
老人保健事業	32億6,233万円	32億6,085万円	148万円
公共下水道事業	28億5,143万円	28億5,055万円	88万円
公共用地等先行取得事業	1億 750万円	1億 750万円	0

過去5か年の投資的経費の比較(一般会計)

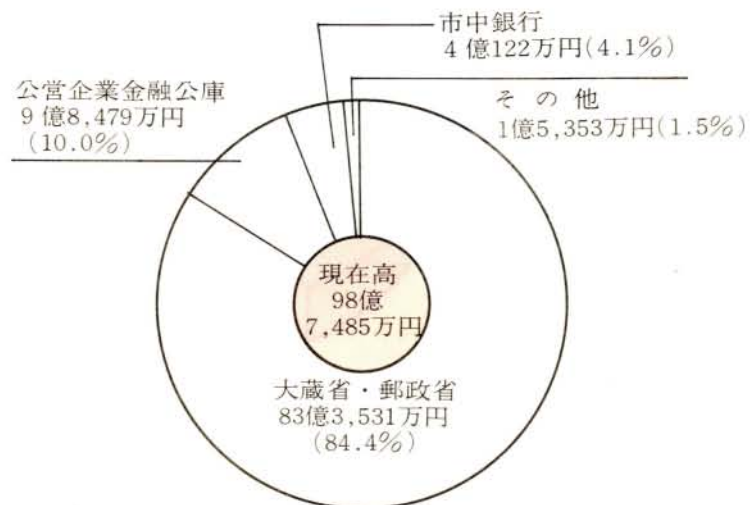
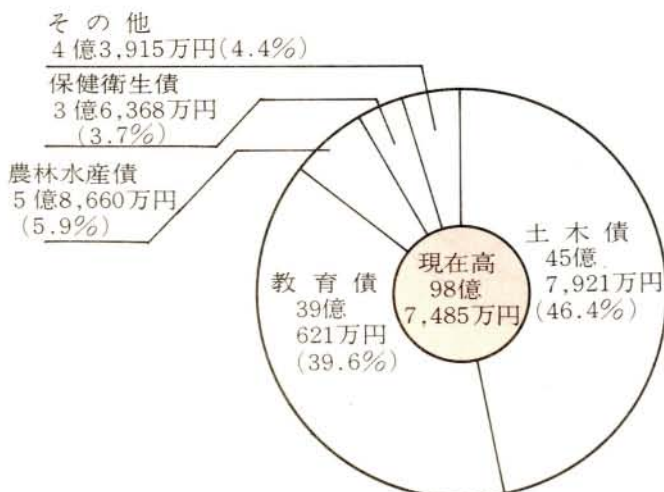


昭和62年度 一般会計歳出決算性質別内訳



市債の状況(一般会計)

地方債現在高 98億7,485万円(昭和62年度末現在)

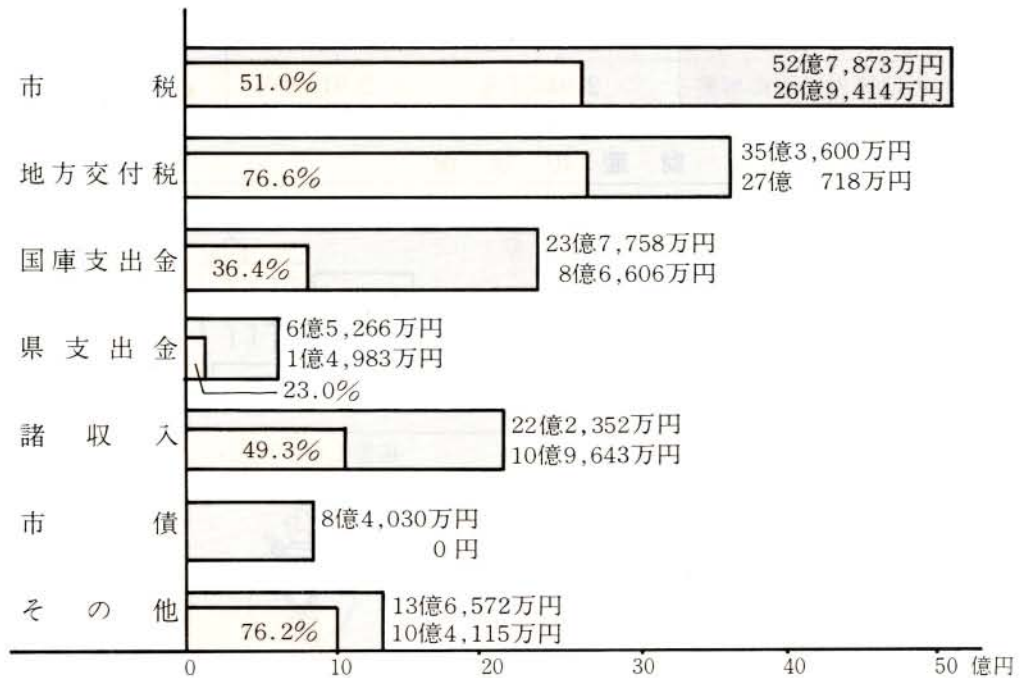


昭和63年度予算の執行状況 (昭和63年9月30日現在)

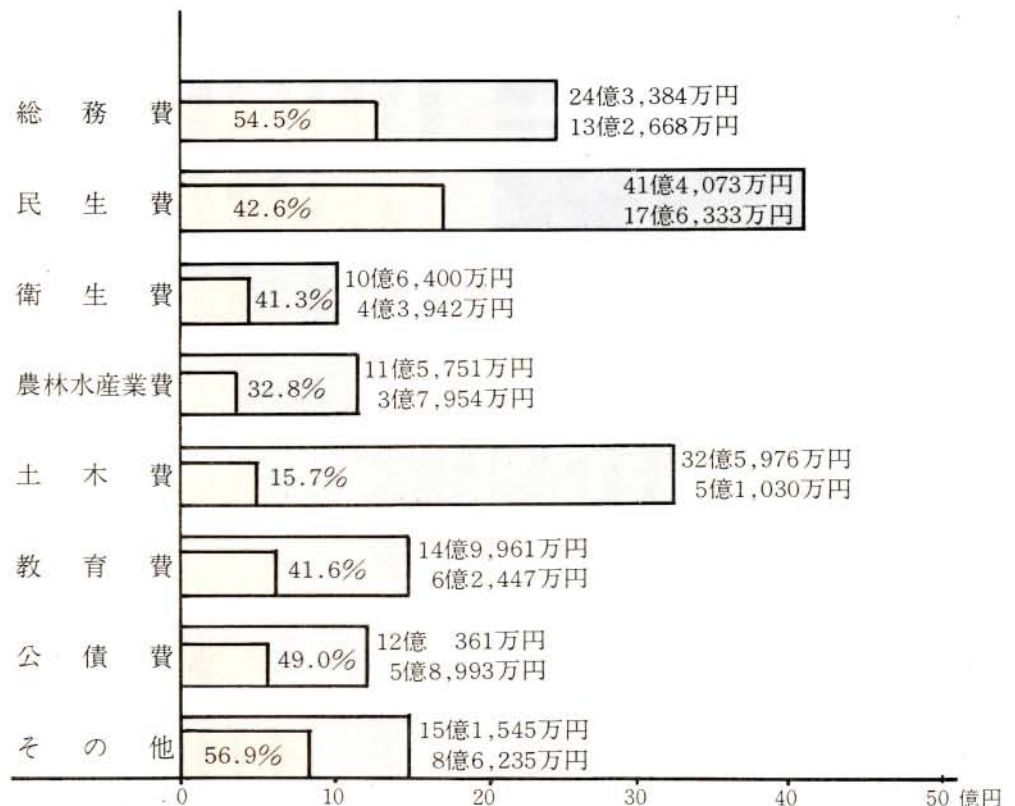
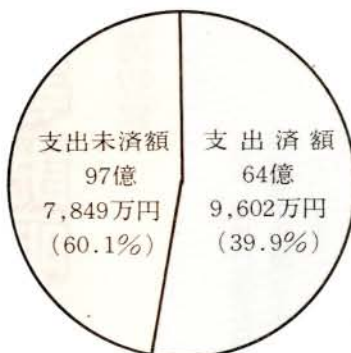
〔一般会計〕 = 予算額 162億7,451万円 =

予 算 額
執行済額(%)

歳入



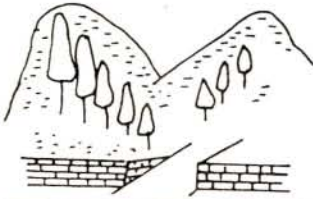
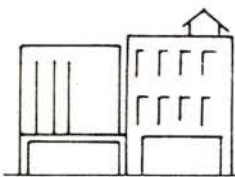


歳出



〔特別会計〕

事業名	予算額	収入済額	執行率(%)	支出済額	執行率(%)
簡易水道事業	4億3,956万円	1,961万円	4.5	9,011万円	20.5
国民健康保険事業	42億6,738万円	12億555万円	28.3	14億5,400万円	34.1
老人保健事業	35億2,247万円	14億3,002万円	40.6	15億3,037万円	43.4
公共下水道事業	35億8,341万円	8億8,183万円	24.6	14億7,257万円	41.1
公共用地等先行取得事業	2,945万円	2,919万円	99.1	2,919万円	99.1

財産の状況

土地・山林 8,007,530㎡ 	建物 253,031㎡ 
車輜 121台 	その他 基金・積立金 46億4,608万円 



下水道浄水管理センター



高齢化社会の進行や疾病構造の多様化するなかで、各科診療の充実を図り、地域医療の確保に努めています。近年は心臓疾患による検査及び診療患者が増加しています。この現状から冠動脈バイパス術・同拡張術など高度医療を当病院において、提供することにより、広範な患者増とサービスに努め、将来の経営健全化を図る目的を持って、昭和64年度心臓血管外科設置にむけて、心臓外科医を採用し、大阪府国立循環器病センターにて研修中です。

市立病院

(1) 事業の概要

また、市民の健康管理のため、人間ドック・各種健康診断等予防医療の積極的な推進を行っています。

(2) 経理の状況

昭和63年度上半期の経理の状況は別表(1)のとおりですが、その概要は次のとおりです。

収益的収入	17億9,060万円
収益的支出	16億1,555万円
差引	1億7,505万円
資本的収入	4,497万円
資本的支出	4,497万円
差引	0万円

(3) 企業債及び一時借入金並びに長期借入金現在高

企業債及び一時借入金並びに長期借入金の状況は、別表2・3・4のとおりです。また、支払利息については次のとおりです。

企業債利息	7,057万円
長期借入金利息	0万円
一時借入金利息	14万円

(4) 昭和62年度決算状況

昭和62年度の決算状況は次のとおりです。

収益的収入	34億9,029万円
収益的支出	33億3,452万円
差引	1億5,577万円
資本的収入	1億2,967万円
資本的支出	1億2,967万円
差引	0万円

業務状況等説明書

大村市告示第97号

別表1 経理の状況

区 分		予 算 額	予 算 執 行 額	予 算 執 行 率 %
収益的収入	第1款 病院事業収益	34億2,779万円	17億9,060万円	52.2
	第1項 医業収益	32億5,235万円	17億 551万円	52.4
	第2項 医業外収益	1億7,244万円	8,176万円	47.4
	第3項 特別利益	300万円	333万円	111.0
収益的支出	第1款 病院事業費用	34億3,406万円	16億1,555万円	47.0
	第1項 医業費用	32億5,770万円	15億3,990万円	47.2
	第2項 医業外費用	1億6,836万円	7,072万円	42.0
	第3項 特別損失	800万円	493万円	61.3
資本的収入	第1款 資本的収入	2億7,337万円	4,497万円	16.4
	第1項 企業債	1億8,200万円	0万円	0.0
	第2項 他会計負担金	9,137万円	4,497万円	49.2
	第3項 固定資産売却代金	0万円	0万円	0.0
資本的支出	第1款 資本的支出	3億5,313万円	4,497万円	12.7
	第1項 建設改良費	2億6,176万円	0万円	0.0
	第2項 企業債償還金	9,137万円	4,497万円	49.2

別表2 企業債の状況

区 分	発 行 額	償 還 額	未償還残高	備 考
建設改良費	2,900万円	102万円	816万円	大 蔵 省
改築事業	23億 280万円	2,587万円	20億2,545万円	〃
医療器機整備	1億9,450万円	1,808万円	9,055万円	〃
計	25億2,630万円	4,497万円	21億2,416万円	〃

別表5 入院・外来患者数調べ (人)

	入院患者延人員	外来患者延人員
4 月	7,813	10,913
5 月	7,981	10,869
6 月	7,767	11,504
7 月	8,146	12,019
8 月	8,018	11,877
9 月	8,112	11,298
計	47,900	68,480
一日平均	261.7	453.5
前年度比	101.7	103.3

別表3 一時借入金明細書

前年度末残高	本年度中における借入残高最高額	63年9月末残高	備 考
6,029万円	6,029万円	0万円	借入先 親和銀行

別表4 長期借入金明細書

前年度末残高	本年度中における借入残高最高額	63年3月末残高	備 考
5億5,000万円	5億5,000万円	5億5,000万円	借入先 大村市モーターボート競走事業

水道

(1) 事業の概要

昭和63年度上半期は、国庫補助事業として3カ年目の荻瀬ダム再開発建設工事を中心とする、第9回拡張事業と老朽管布設替工事などを実施しています。

一方、一般事業においては、下水道工事に伴う水道管の移設工事と九州横断自動車道路建設工事に伴う水道管の移設工事、及び水道管延長120kmの漏水調査、修繕を行い漏水防止に努めています。

(2) 経理の状況

上半期における経理の状況は次のとおりで、執行状況は別表1のとおりです。

収益的収入	5億6,129万円
収益的支出	4億2,073万円
差引	1億4,056万円
資本的収入	0万円
資本的支出	4,401万円
差引	△4,401万円

(3) 企業債の状況

本年度上半期に支払った企業債の元利償還金は次のとおりで、企業債の状況は別表2のとおりです。

企業債元金	2,577万円
企業債利息	1億3,507万円
合計	1億6,084万円

(4) 決算の状況

昭和62年度の決算の状況は次のとおりです。

収益的収入	10億3,636万円
収益的支出	11億2,195万円
差引	△8,559万円

資本的収入

資本的収入	2億3,489万円
資本的支出	△1億9,009万円
差引	0億9,009万円

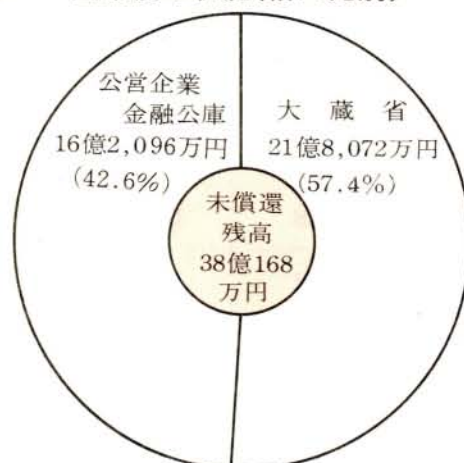
資本的収入の不足額1億9,009万円は過年度分損益勘定留保資金1億9,009万円に補てんしました。

別表1 経理の状況

(昭和63年9月30日現在)

区	分	予算額	予算執行額	予算執行率(%)
収益的収入	第1款 水道事業収益	10億9,129万円	5億6,533万円	51.8
	第1項 営業収益	10億8,610万円	5億6,317万円	51.9
	第2項 営業外収益	519万円	216万円	41.6
	第3項 特別利益	-	-	0.0
収益的支出	第1款 水道事業費用	12億901万円	4億2,073万円	34.8
	第1項 営業費用	9億3,273万円	2億8,566万円	30.6
	第2項 営業外費用	2億7,386万円	1億3,507万円	49.3
	第3項 特別損失	142万円	0	
資本的収入	第1項 予備費	100万円	0	
	第1款 資本的収入	1,922万円	0	
	第1項 企業債	980万円	0	
	第2項 他会計負担金	192万円	0	
	第3項 出資金	173万円	0	
	第4項 補助金	577万円	0	
	第5項 工事負担金	-	0	
資本的支出	第6項 固定資産売却代金	-	0	
	第7項 寄付金	-	0	
	第1款 資本的支出	2億9,682万円	4,401万円	14.8
	第1項 建設改良費	2億4,358万円	1,824万円	7.5
資本的支出	第2項 企業債償還金	5,224万円	2,577万円	49.3
	第3項 予備費	100万円	0	

別表2 企業債の状況(借入先別)



坂口浄水管理センター

工業用水道

(1) 業務の概要

昭和63年度事業は、取水工事とし

て山田水源動力計装設備工事、送水工事として送水管布設工事（池田、坂口）、池田送水ポンプ場動力（低圧受電）計装設備工事、構内整備工事、取付道路舗装工事、坂口送水ポンプ場構内整備工事およびパイプ管布設工事を施工します。

(2) 経理の状況

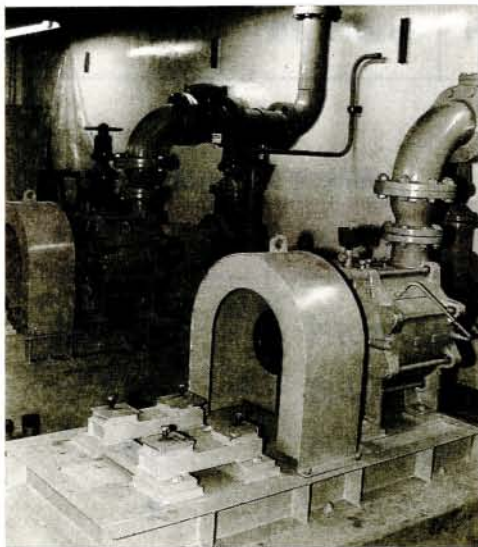
	区 分	予 算 額	予算執行額	予算執行率(%)
資本的収入	第1款 資本的収入	1億4,000万円	0	0
	第1項 企 業 債	6,890万円	0	0
	第2項 補 助 金	7,100万円	0	0
	第3項 他 会 計 補 助 金	5万円	0	0
	第4項 その他資本的収入	5万円	0	0
資本的支出	第1款 資本的支出	1億4,000万円	6,699万円	47.9
	第1項 建設改良費	1億4,000万円	6,699万円	47.9

一時借入金明細書

前年度末残高	本年中における借入残高最高額	昭和63年9月30日末残高	借 入 先
0	6,780万円	6,780万円	大村市モーターボート競走事業会計

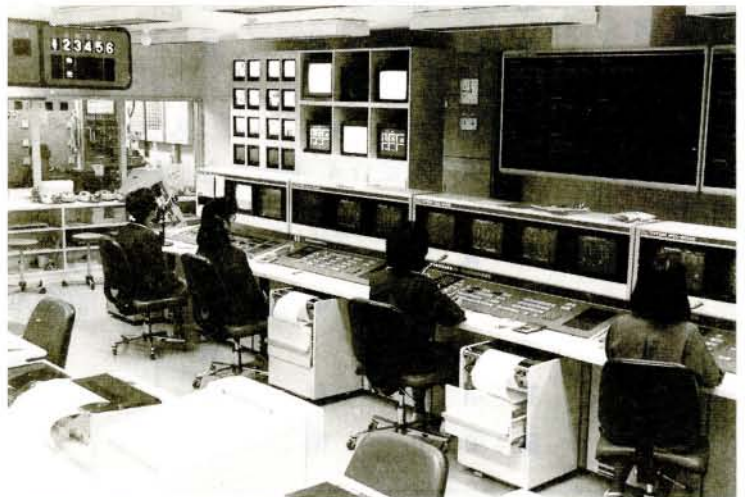
企業債の状況

借 入 金	発 行 額	償 還 額	未償還額	残 高
大 蔵 省	1億3,040万円	0	1億3,040万円	1億3,040万円
公営企業金融公庫	2億2,380万円	0	2億2,380万円	2億2,380万円
計	3億5,420万円	0	3億5,420万円	3億5,420万円



池田送水ポンプ場内部（動力計装設備）

モーターボート



発売・支払・映像などを集中管理する計算センター

(1) 事業の概要

今年度上半期の売上額は、前年同期に比べ、4.6%増となっておりますが、入場者は2.1%減と依然として低迷しています。
今年度は、電話投票の導入による遠隔地の潜在ファンの投票参加や、5大競走の場内発売による魅力あるレース展開に力を入れ、ファン拡大に努めたいと考えています。

(2) 経理の状況

経理の状況は別表(2)のとおりですが、昭和63年度予算の1日平均売上額は1億4,300万円の見込みで計上しており、一般会計へは10億円を繰出しています。



(3) 決算の状況

昭和62年度決算の概要は次のとおりです。

決算額

モーターボート競走事業収益

274億2,709万円

モーターボート競走事業費用

260億6,211万円

差引

13億6,498万円

前年度繰越利益剰余金

3億3,746万円

当年度未処分利益剰余金

17億2,455万円

利益剰余金処分額

1億円

利益積立金

3億5,000万円

建設改良積立金

9億5,000万円

一般会計繰出金

14億円

合計



売 上 げ 調 べ

別表(1)

月 度 別	売 上 高	月 度 別	売 上 高	月 度 別	売 上 高
1回(4月度)	26億7,962万円	3回(6月度)	22億1,324万円	5回(8月度)	24億3,929万円
2回(5月度)	25億6,711万円	4回(7月度)	18億7,023万円	6回(9月度)	20億7,049万円

経 理 の 状 況

昭和63年9月30日現在 (単位: 万円)

別表(2)

区 分		予 算 現 額	予 算 執 行 額	予 算 執 行 率(%)
収益的収入	第1款モーターボート競走事業収益	272億4,790万円	145億2,602万円	56.6
	第1項 営業収益	270億4,299万円	143億9,734万円	53.3
	第2項 営業外収益	2億4,361万円	1億2,868万円	52.8
	第3項 特別収益		0	0
収益的支出	第1款モーターボート競走事業費用	264億5,557万円	132億8,490万円	50.3
	第1項 営業費用	263億5,557万円	132億8,490万円	50.5
	第2項 営業外費用		0	0
	第3項 特別損失		0	0
第4項 予備費	1億円	0	0	
資本的収入	第1款資本的収入		0	0
	第1項 固定資産売却代金		0	0
資本的支出	第1款資本的支出	16億8,980万円	11億3,872万円	67.4
	第1項 建設改良費	4億8,980万円	1億3,872万円	28.3
	第2項 投資	1億円	0	0
	第3項 貸付金	10億円	10億円	100.0
第4項 予備費	1億円	0	0	

発行所/大村市役所

☎(代)53)4111

編集/広報公聴課

印刷所/九州凸版(株)